

昭和52年1977

2月

横浜市関係

- 1 市民局長ら一等級六人の人事異動。
- ▽根岸競馬場跡に「馬の博物館完成」。
- ▽中型スーパ一の進出を規制する指導要綱施行
- 2 特別養護老人のための施設「磯子ホーム」が開所
- 5 第二回区民会議交流会が開かれる
- 6 「寿町身障者友の会」発足、助け合う集団を目指す
- 9 五十二年度予算案を発表。前年当初比一八・四％の伸び
- 12 五十一年、金沢埋立て地で実施した大地震想定実験結果を発表、避難路の通行が困難という結果が出る
- 14 火遊び防止に南消防署の銀輪部隊が出勤
- 15* 五十二年度から障害者や老人が、安心して街に出られる環境づくりを民間に働きかけていく
- 16 横浜スタジアムが創立される
- 17* 寒波のため各地で水道管が破裂、一日で百件を越し、水道局職員はてんてこ舞い。▽教育委、伝統芸能に助成金を出すことにする
- 19* 五十二年度予算案に南部地域総合病院建設のため用地費を計上
- 22 港南区から交通事故を減らそうと「交通安全港南総ぐるみ大会」を開催

自治体・国・社会

- 1 「ともしび運動」を展開している神奈川県で全員の電話交換機を採用。▽建設省、川崎市、東京都の多摩川総合調査開始。
- ▽神奈川県新聞創刊三十五周年。
- ▽国土庁、地価動向調査速報を発表。
- 3 衆院本会議が開会。
- ▽自治省、地方選を毎年十月五日に統一する方針を出す。▽環境庁、複合汚染と健康影響との関係を分析し報告書を出す。4 「神奈川県日中友好の翼訪中団」出発。▽神奈川県内広域水道企業団、五十二年度予算案を発表、給水料値上げは必至。6 岐阜県知事選で保守の上松氏が当選。
- ▽小田原市長選、投票率が低調。中井氏が三選される。8 社会党定期大会。9 鎌倉市の緑化汚職で三人目の職員逮捕。10 神奈川県、五十二年度予算案を発表。11 日米漁業協定、暫定取り決め調印。15 神奈川県、二十一世紀初頭の神奈川県像を発表。16 全国市長会が開かれ、水産都市協議会の発足を決定。
- 17 百里基地訴訟で水戸地裁、自衛隊は合憲と判断。18 鎌倉市の緑化汚職拡大、公園みどり課長と工事検査室長も逮捕される。21 神奈川県会が開会され、

3月

昭和52年1977

横浜市関係

- 23 交通局、バス再建計画変更案を発表
- 24* 下水道局、新年度より水洗化区域の拡大と浸水対策を進める
- 25 横浜市民公害病認定審査会、新たに九人を公害病患者に認定
- 27 横浜市民ギャラリーで「フンデルトワッサー展」が開かれる
- 28 市会定例会開会。市長、ゆとりと潤いの施策を強調。▽「春の火災予防運動」はじまる
- 1 市会第二、第四、第六、第七委で五十一年度補正予算を審議し可決する
- 2 中学を卒業して就職する生徒を励ます集いが、市民ホールで開かれ、市長が激励の言葉
- 4 市会本会議で市長、法人市民税の超過課税を五年延長し、校舎改築の財源にすると発表
- 5 市会本会議で市長、米軍鶴見貯油施設の立ち入り検査について答弁
- 6* 五十一年夏に県、横浜、川崎三首長懇談会で確認された「協調行政」が、公害対策で手を結ぶ。▽柳原良平氏らの「横浜市民と港を結びつける会」大反響
- 8 市会予算特別委で消防局長、救急・消防の充足率を八〇％まで引き上げると表明。▽緑政局、五十二年度より都市農業の後継者育成を打出す

自治体・国・社会

- 予算案を審議。▽自治省の調査によると、地方公務員のストによる処分の九割が教育職員。22 真鶴町で採石権めぐり汚職、係長が逮捕される。▽参院本会議で五十一年度補正予算案可決、成立。24 厚木市内にPCB入り汚泥を投棄していた業者が書類送検される。25 神奈川県立高校の入学試験、一斉に実施。
- 26 公明党定期大会。
- 1 神奈川県下の公立高校、一斉に卒業式。▽米ソ二百カイリ体制に入る。2 神奈川県警発表、少女の非行、犯罪が四年間で二倍近くに増える。3 元橋の会会員ら右翼、経団連を襲撃。
- 6 泰野市長選、五八・六％の投票率。現職の栗原藤次氏が三選。▽神奈川県警、主要幹線で交通量調査。県外車が三九％も。
- 8 九大で「ジン臓銀行」がオープン。11 文部省、通塾調査の結果を発表、小中学生の五人に一人が塾通い。神奈川県警の塾教師の二三％が学校の先生。12 一年五ヵ月ぶりに公定歩合を〇・五％引き下げ六％になる。13 川崎市、廃棄物公社設立にむけて動き出す。14 全国世論調査

4月

9 教育委の発表によると今年卒業の小学生の九〇%が市立中学へ。▽横浜市公害病認定審査会、女性一人を新たに認定し、市内の公害病患者は八百三十人に

11 市会予算特別委で公害対策局長、大工場には脱硝装置の設置でNOxに対処すると答弁

12 市道橋「宝橋」の欄干倒れ二人けが

15 公害対策局の職員を装った男、鶴見のメッキ工場から青酸ナトリウムを盗む

▽市会で港湾局長、数年内に大橋橋を補強すると説明

17 釜利谷開発に伴う排土の金沢埋立て地への搬入が、かなり難しくなってきたことが市会で明らかにされる

18 自治省、用地先行取得事業債一億九千九百万円を横浜市へ配分

23 横浜国際会議場が完成し初公開

26 企画調整局、市会第一委で「新五カ年指標」の要旨を報告

27 瀬谷区に休日急患診療所がオープン

30 市会本会議、新年度予算案など可決し閉会

1 「動物保護管理条例」がスタート。

▽緑区役所山内出張所の新庁舎開所式

2 南区交通安全対策協議会主催の「交通安全安全宣言大会」が南公会堂で開かれる

4* 「国際交流と市民感覚」の調査結果が発表され、市民の関心が国際交流に示されているのがわかる

の結果が発表され、これによると福田内閣の支持は三三・五%で支持しないのは五〇・八%になっている。▽衆院予算委で建設相、昭和公園の候補地の一つとして逗子、葉山をあげる。▽国税庁、田中角栄に四億二千万円の追徴。18 政府修正された五十二年度予算案、衆院を通過し参院へ。19 福田首相、日米首脳会談のためアメリカへ出発。

22 鎌倉市の緑化汚職で依頼退職した元係長に退職金が支払われたことに対して、住民監査請求が出される。▽藤沢市でも再開発ビル予算計上をめぐって住民監査請求。▽民社党定期大会。

23 横浜・川崎の両市で計画していた「公害保健センター」が着工される。24 首都圏整備審議会は五十二年度目標とした首都圏整備計画を答申。広域多核都市づくりを目指す。26 江田氏社会党を離党し新党結成へ。28 国鉄時限ストで二百五十万人の足に影響。

1 国土庁、地価の鑑定結果を官報で公示。3 労働省は、五十一年度の賃金構造調査結果を発表、年齢間の格差が拡大。▽三浦市とヨットのオーナー、ヨット税問題で紛糾。4 川崎市とユーゴのリエカ市が姉妹都市提携へむけて予備会議。▽神奈川県下最長の厚木相模原バイパスが開通。

5 平良沖縄県知事が市長を訪問。▽帷子小学校天王町分校が三クラス六〇人で開校。▽市長、市会全員協議会で(株)横浜スタジアムへの援助を示唆

8 西ドイツ桜の女王が市長を表敬訪問

▽日石根岸製油所で爆発事故

12 市内で九番目の「氷取沢市民の森」がオープン

14 塩素ガスが横浜商高一帯を襲い市民五七人が中毒

15 地下街、雑居ビル等の災害防止を目的とした消防局の消防特別査察隊初出動

18 二二五路線の道路愛称を発表

20* 「私立幼稚園児の実態」がまとまる

周辺区では八六%が送迎バスを利用

21 教育委、五十二年教育施設整備計画を発表、一校新設、二九校増改築

22 中区役所、ゲートボール講習会を開催し老人福祉の一つとして普及に乗出す

23 市会第六委で消防局、日石根岸製油所爆発事故に関連し災害時の広報体制の改善を約束

24 市民ギャラリーで「具象美術展」

26 県道横浜上麻生線のバイパス完成。

▽水道局で汚職、工事の監督に手心を加えた容疑で職員逮捕される。▽四月一日現在の横浜市の人口は二、六六六、四〇四人と統計課発表

27 水道局の汚職で逮捕された職員、懲戒免職、また水道局長ら幹部七人も処分

5 神奈川県政アンケート調査の結果がまとまる。四人に一人が生活環境に不満。

6 神奈川県衛生部、過去四年間の食品汚染物質の調査報告を発表。▽神奈川県、汚職防止機構の点検をはじめ。8 川崎市医師会、看護婦実態調査の結果から看護婦不足と病床閉鎖を指摘。9 大洋球団の横浜移転に反対する川崎市民連合が発足。

11 参院予算委で自治相、地方公務員の給与、退職金の適正化指導をすると約束。15 春闘第二波統一スト突入。16 参院本会議で五十二年度予算案が成立。

18 首都高速道路公園、五十二年度の高速道路建設事業の内容を発表。19 公定歩合さらに一%引き下げ。20 公労協、ストに突入。22 環境庁長官、水俣入り。24 名古屋市長選で本山氏が再選される。25 自治省、自治医科大卒業生を地方公務員として採用し、その後辺地医療に従事させるよう各自自治体に要請。26 自治省、神奈川県別交付金を決定。27 本年度神奈川県政モニターの第一回会議が県民ホールで開かれる。28 鎌倉市議選告示。▽総理府、全国消費者物価指数を発表。目標を〇・八%上回る。▽東京湾岸自治体公害対策会議、労働福祉センターで総会を開き統一の規制基準検討。

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川県新聞を参考にした。* 印は日付不確定のため新聞発行日。